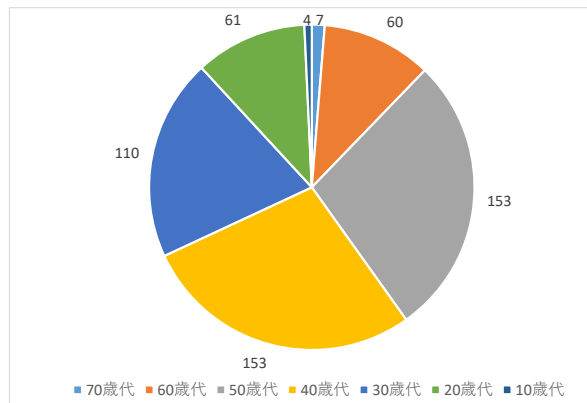


奈良の食・地産地消に関する調査（R5年8月実施）集計表

単純集計

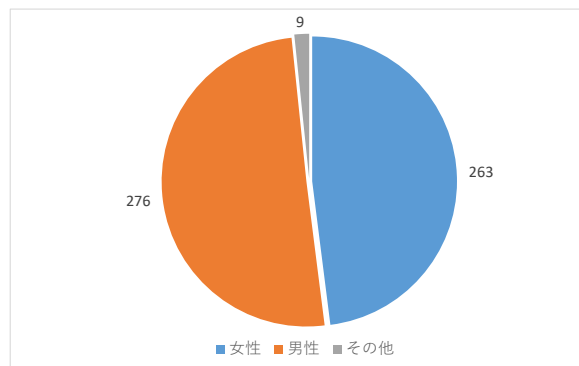
Q1：年代

	回答数	割合
70歳代	7	1%
60歳代	60	11%
50歳代	153	28%
40歳代	153	28%
30歳代	110	20%
20歳代	61	11%
10歳代	4	1%
小計	548	100%



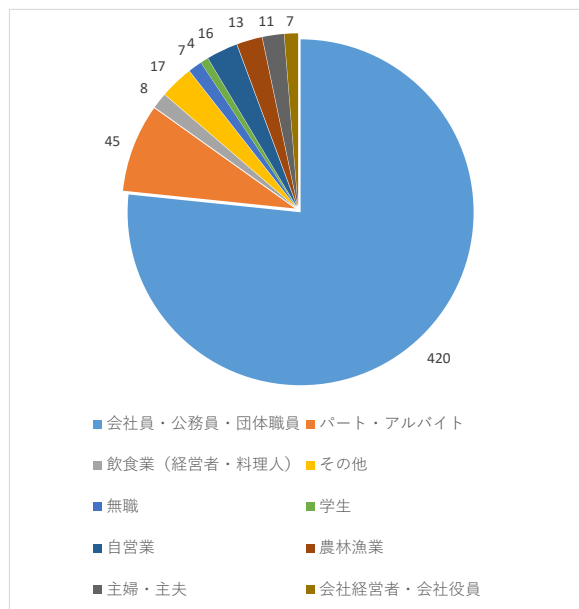
Q2：性別

	回答数	割合
女性	263	48%
男性	276	50%
その他	9	2%
小計	548	100%



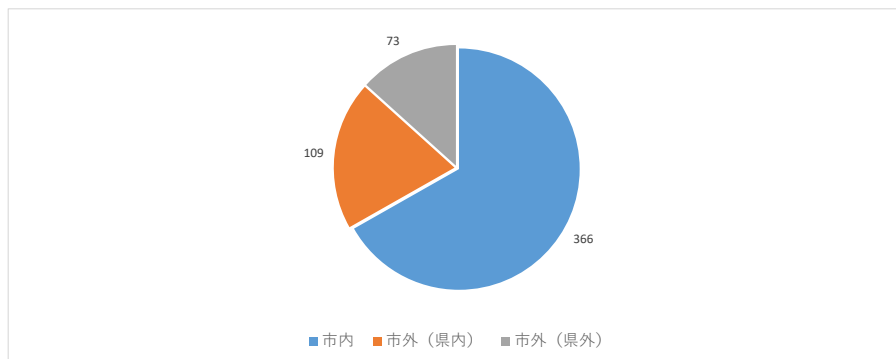
Q3：職業

	回答数	割合
会社員・公務員・団体職員	420	77%
パート・アルバイト	45	8%
飲食業（経営者・料理人）	8	1%
その他	17	3%
無職	7	1%
学生	4	1%
自営業	16	3%
農林漁業	13	2%
主婦・主夫	11	2%
会社経営者・会社役員	7	1%
小計	548	100%



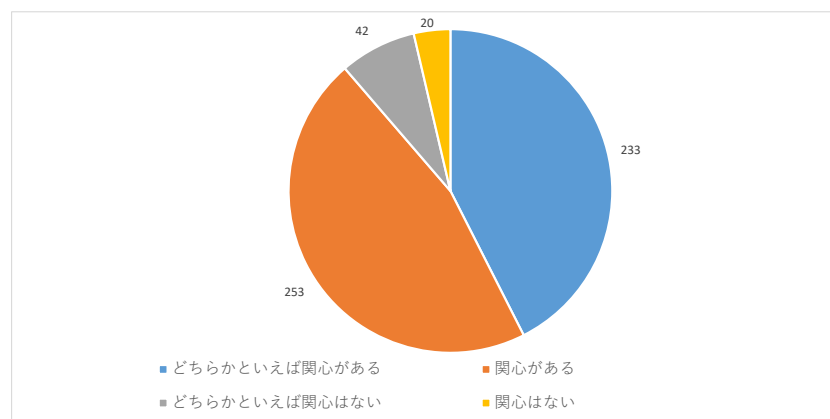
Q4：居住地

	回答数	割合
市内	366	67%
市外（県内）	109	20%
市外（県外）	73	13%
小計	548	100%



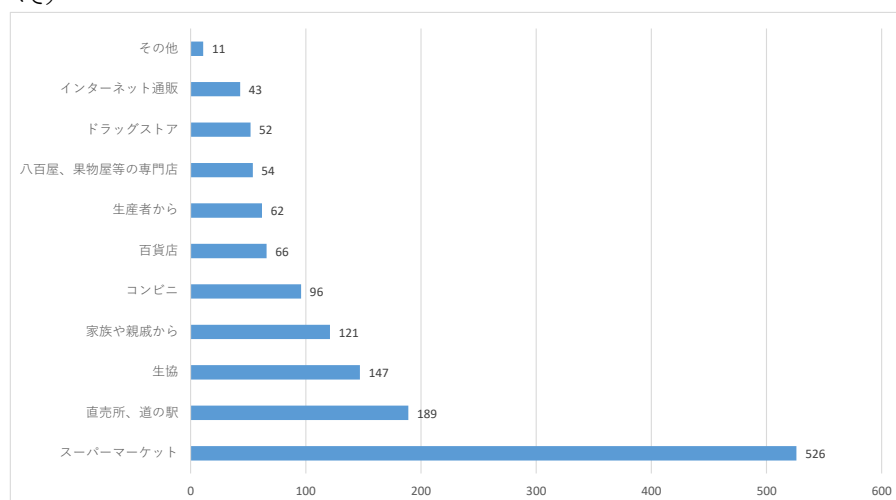
Q5：地産地消への関心

	回答数	割合
どちらかといえば関心がある	233	43%
関心がある	253	46%
どちらかといえば関心はない	42	8%
関心はない	20	4%
小計	548	100%



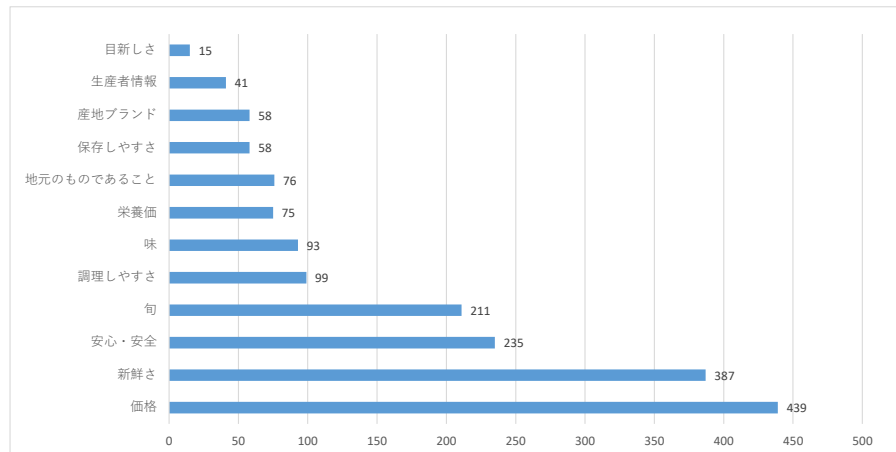
Q6：食材の購入先（当てはまるものすべて）

	回答数	割合
スーパーマーケット	526	96%
直売所、道の駅	189	34%
生協	147	27%
家族や親戚から	121	22%
コンビニ	96	18%
百貨店	66	12%
生産者から	62	11%
八百屋、果物屋等の専門店	54	10%
ドラッグストア	52	9%
インターネット通販	43	8%
その他	11	2%



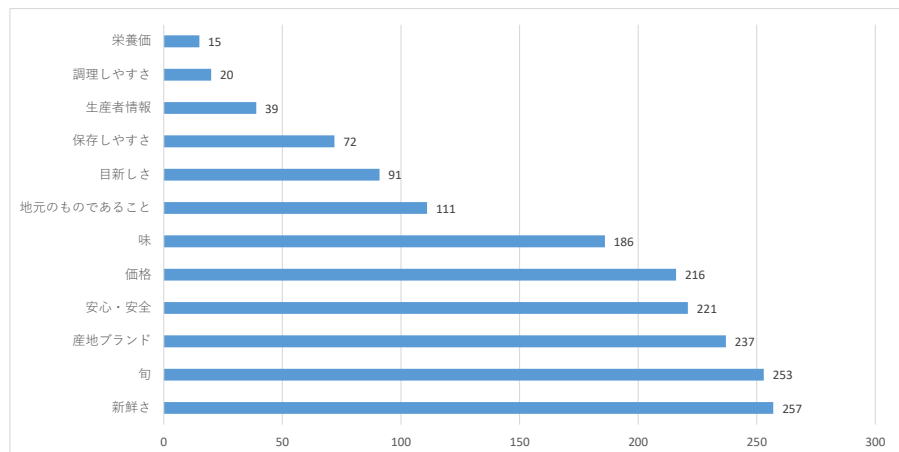
Q7：食材購入時に重視するポイント（3つ）

	回答数	割合
価格	439	80%
新鮮さ	387	71%
安心・安全	235	43%
旬	211	39%
調理しやすさ	99	18%
味	93	17%
栄養価	75	14%
地元のものであること	76	14%
保存しやすさ	58	11%
産地ブランド	58	11%
生産者情報	41	7%
目新しさ	15	3%



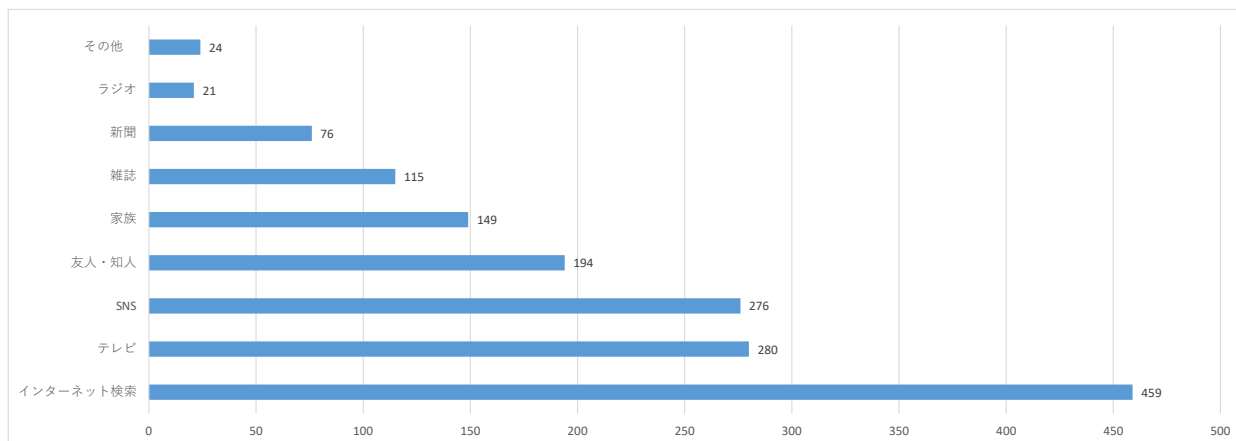
Q8：贈り物の際に重視するポイント（3つ）

	回答数	割合
新鮮さ	257	47%
旬	253	46%
産地ブランド	237	43%
安心・安全	221	40%
価格	216	39%
味	186	34%
地元のものであること	111	20%
目新しさ	91	17%
保存しやすさ	72	13%
生産者情報	39	7%
調理しやすさ	20	4%
栄養価	15	3%



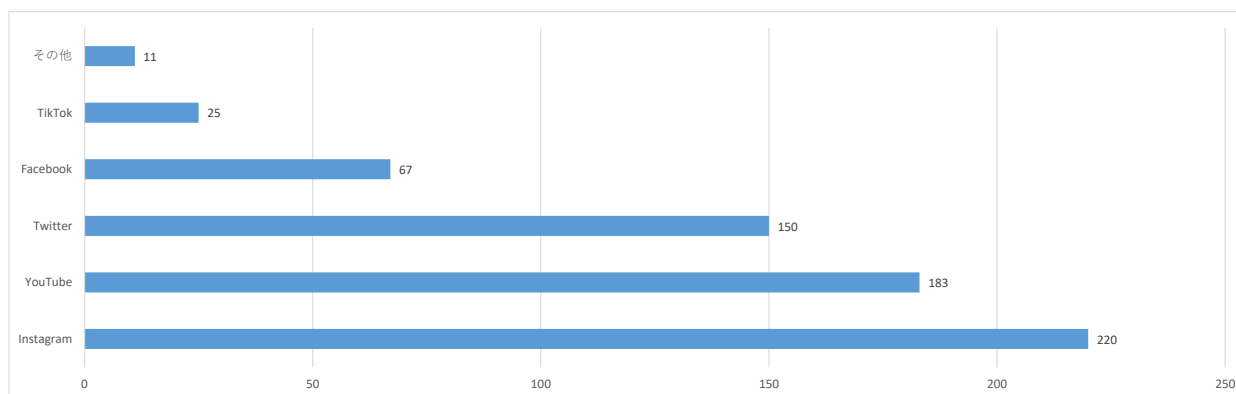
Q9：食に関する情報の入手先

	回答数	割合
インターネット検索	459	84%
テレビ	280	51%
SNS	276	50%
友人・知人	194	35%
家族	149	27%
雑誌	115	21%
新聞	76	14%
ラジオ	21	4%
その他	24	4%



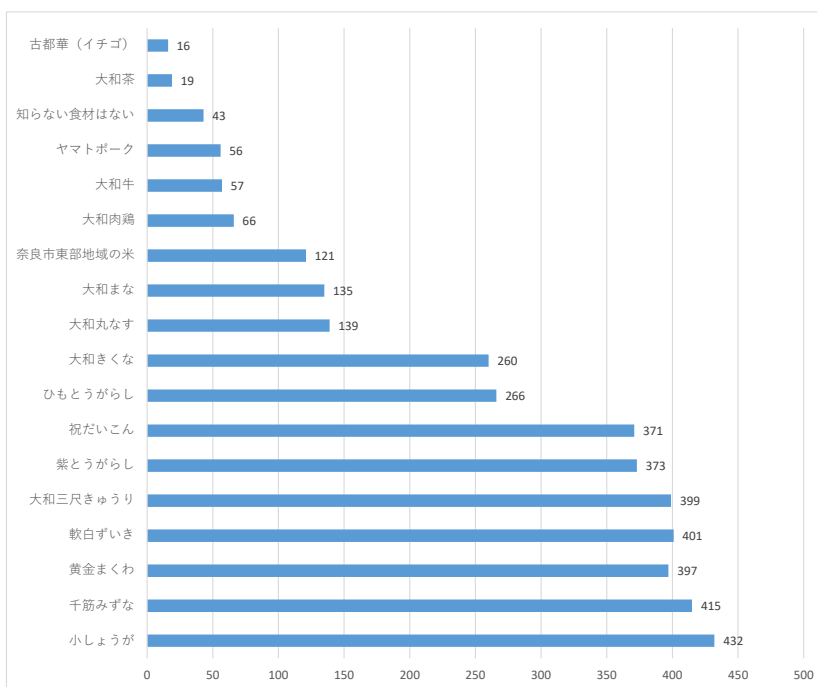
Q10：よく使うSNS

	回答数	割合
Instagram	220	40%
YouTube	183	33%
Twitter	150	27%
Facebook	67	12%
TikTok	25	5%
その他	11	2%



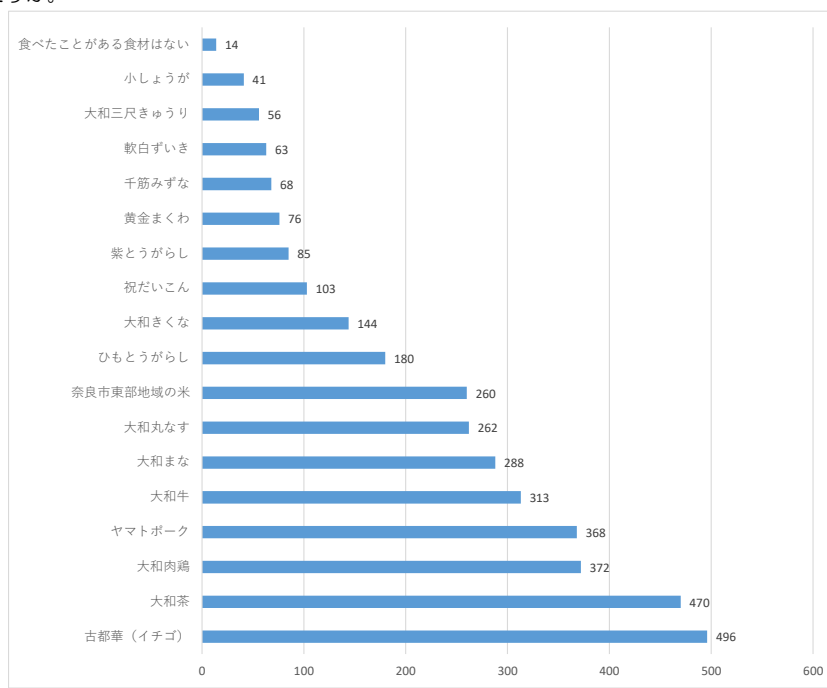
Q11：「知らない」食材はどれですか。

食材名	回答数	割合
小しょうが	432	79%
千筋みずな	415	76%
黄金まくわ	397	72%
軟白ずいき	401	73%
大和三尺きゅうり	399	73%
紫とうがらし	373	68%
祝だいこん	371	68%
ひもとうがらし	266	49%
大和きくな	260	47%
大和丸なす	139	25%
大和まな	135	25%
奈良市東部地域の米	121	22%
大和肉鶏	66	12%
大和牛	57	10%
ヤマトボーク	56	10%
知らない食材はない	43	8%
大和茶	19	3%
古都華（イチゴ）	16	3%



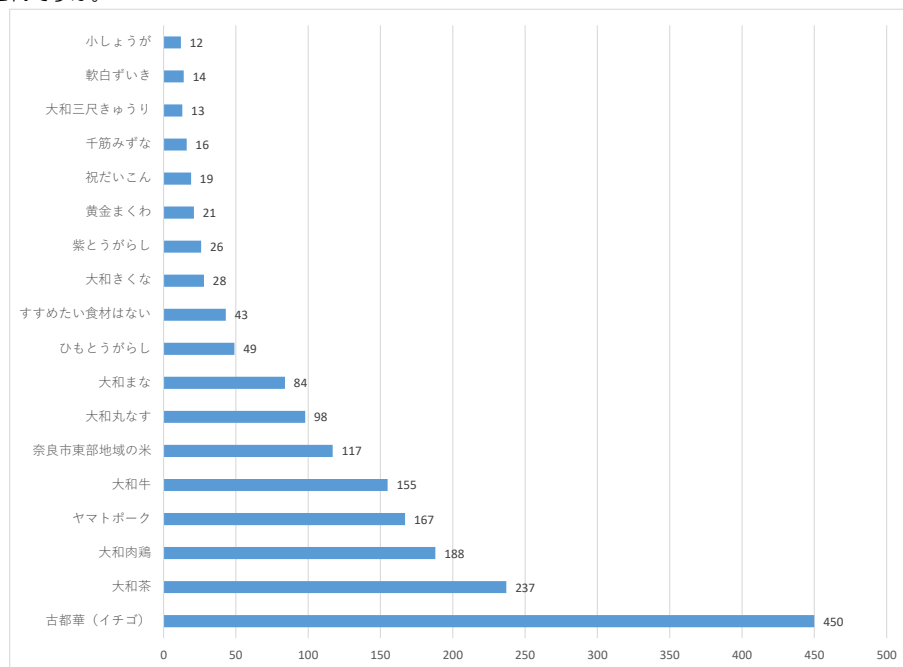
Q12：「食べたことがある」食材はどれですか。

食材名	回答数	割合
古都華（イチゴ）	496	91%
大和茶	470	86%
大和肉鶏	372	68%
ヤマトボーク	368	67%
大和牛	313	57%
大和まな	288	53%
大和丸なす	262	48%
奈良市東部地域の米	260	47%
ひもとうがらし	180	33%
大和きくな	144	26%
祝だいこん	103	19%
紫とうがらし	85	16%
黄金まくわ	76	14%
千筋みずな	68	12%
軟白ずいき	63	11%
大和三尺きゅうり	56	10%
小しょうが	41	7%
食べたことがある食材はない	14	3%



Q13：「人にもすすめたい」食材はどれですか。

食材名	回答数	割合
古都華（イチゴ）	450	82%
大和茶	237	43%
大和肉鶏	188	34%
ヤマトポーク	167	30%
大和牛	155	28%
奈良市東部地域の米	117	21%
大和丸なす	98	18%
大和まな	84	15%
ひもとうがらし	49	9%
すすめたい食材はない	43	8%
大和まな	28	5%
大和丸なす	28	5%
紫とうがらし	26	5%
黄金まくわ	21	4%
祝だいこん	19	3%
千筋みずな	16	3%
大和三尺きゅうり	13	2%
軟白ずいき	14	3%
小しょうが	12	2%



Q14：その他「人にもすすめたい」食材（自由記述）

すいか	米	いちご (古都華以外)	しいたけ	ほうれん そう	ブルーベ リー	大和当帰	茶(ほう じ茶・和 紅茶)	菊芋	たまご	トマト・ トマト ジュース	里芋	古代米	梅
7	7	5	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2

えごま油	りんご	草餅	はっちく	味噌芋	大鉄砲大豆	ナス	空心菜	パクチョ イ(ちん げんさ い)	歌姫大根	はちみつ	鹿肉	イノシシ 肉	今市カブ
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

ソーメン かぼちゃ	白ネギ	きゅうり	ちぢみ小 松菜
1	1	1	1

Q15：奈良の食や地産地消について書き添えたいこと（自由記述）

分類	PR	流通	調理法	戦略案	新規開発	農業	ブランド	有機とGAP	価格	地産地消否定	飲食店	その他意見	応援コメント
割合	19%	18%	12%	7%	7%	6%	5%	4%	3%	2%	2%	9%	7%

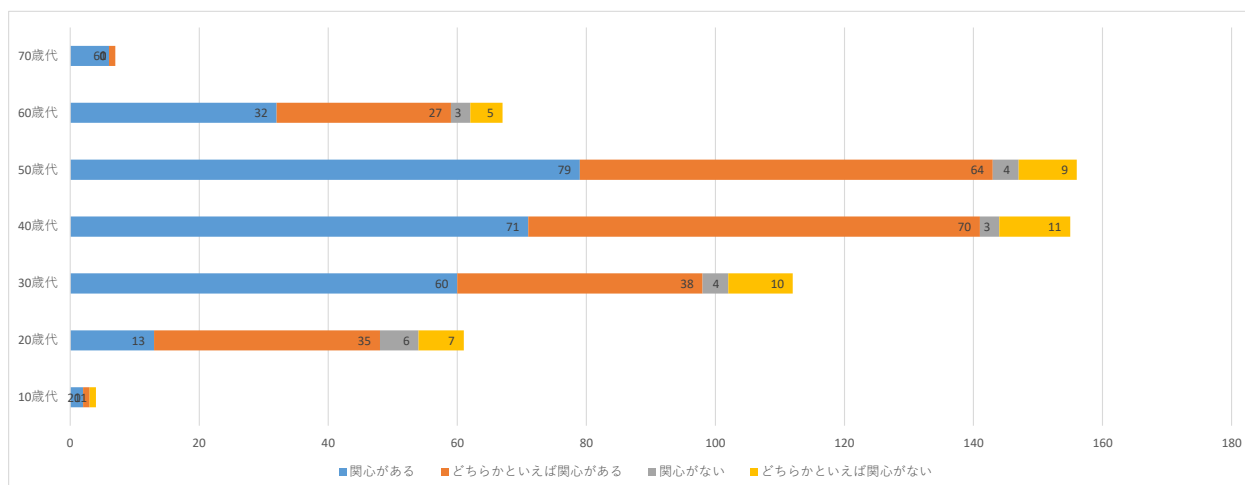
自由記述抜粋

PR	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所等では地元野菜が多数販売されているが、そのことがあまり知られていないのでは ・奈良の食材を全然知らなかった。取り扱いのあるお店が分からない ・大和野菜という言葉は浸透してきているが、おいしいことをもっとアピールすべき ・経営している飲食店で地元野菜を提供しているが、まだまだ知名度が低い。 ・若者に人気の有名人が奈良を訪れ紹介した商品を、その後ファンも奈良に来て購入したとのこと。若者をターゲットに奈良を知ってもらうには、有名人を採用するのは有効 ・もっと産地をアピールしてもよいのでは ・メディアを活用し、奈良の地産をアピールすることで市民からの知名度を上げていかなないと地産地消は謳えない ・観光客の滞在時間を延長するにも、奈良は食のPRが弱い ・皆が郷土の特産品を知り、誇りを持てるようにすべき
流通	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと身近で購入できるようにしてほしい ・地元食材の取扱店、取扱量が少ない ・地産販売の場所がない ・地元野菜をあまり目にしない ・手に取りやすい価格での販売を強化してほしい ・コンビニやスーパーで調理済おがずとして売っていたら購入する ・産地化が進んでほしい
調理法	<ul style="list-style-type: none"> ・大和野菜のレシピや地域の簡単なおかずレシピを知りたい ・旬の野菜とそのレシピを教えてください ・野菜を好きになる方法を教えてください ・食材の食べ方、レシピをたくさん知りたい ・食材の味の特徴が知りたい ・めずらしい野菜でも、料理の仕方や味がわからないので購入できない ・スーパー等での試食や、レシピの配布があれば良い
戦略案	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで地産地消の特別コーナーになっていると意外と手を出しにくい。陳列の工夫が必要 ・給食などで子どものころからもっと意識付けを ・派手さはないが、どれも一度食べればおいしさはわかってもらえるので、いかにはじめに手にとってもらえるかが重要 ・地産地消でどんどん変な形の野菜も流通して頂いたら購入したいと思う ・生産者、消費者、事業者がWIN-WINになるよう、直売所の活用を ・今消滅している作物の復活を、生産者や大学などと取り組めれば
新規開発	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ認知されるだけでなく、世間に普及していくような加工品の開発が必要 ・手土産になりそうな加工品があれば嬉しい ・特産品を生かして、全国的に知名度のあるグルメを開発したほうがいい ・名物料理が少ない。B級グルメなどと地域一丸となってすすめてみては
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作面積を増やす施策が必要 ・地産地消に取り組むには、地元農家が安定して生産し、出荷する体制を作る必要がある。奈良の農業従事者の絶対数が少ない ・奈良市東部山間地域の米の買取価格低下に伴い、後継者不足が深刻化。販路拡大し、買取価格を上昇させることが重要 ・農地の保全を
ブランド	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとブランド化して、近い将来に輸出できれば。そのためにも、まずは地産地消の推進を ・「大和野菜」としてワンパッケージでのブランドアップを期待 ・ブランド化が重要。地元産野菜・果物を譲るのではなく、販売する風潮への転換を
有機とGAP	<ul style="list-style-type: none"> ・GAPを取得し安全性をPRしてはどうか ・できるだけ無農薬、無添加のものがほしい ・オーガニックを増やしてほしい
価格	<ul style="list-style-type: none"> ・大和野菜の値段が高い ・価格が安ければ買う ・地元産なら輸送費が少ない分、安くなれば嬉しい
飲食店	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消に取り組んでいる飲食店等を紹介してほしい
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進が、地元の人不在の取り組みにならないようにしてほしい ・規格外れや難あり野菜の行方は？安全なものであれば購入する ・地元農産物は特徴が薄く、印象として残りにくい ・他の地域に行く度に、奈良の食の強みのなさを再認識する

クロス集計

Q1「年代」×Q5「地産地消への関心」☑️”地産地消への関心が高い世代”

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
関心がある	2	13	60	71	79	32	6	263
どちらかといえば関心がある	1	35	38	70	64	27	1	236
関心がない	0	6	4	3	4	3	0	20
どちらかといえば関心がない	1	7	10	11	9	5	0	43
計	4	61	112	155	156	67	7	562

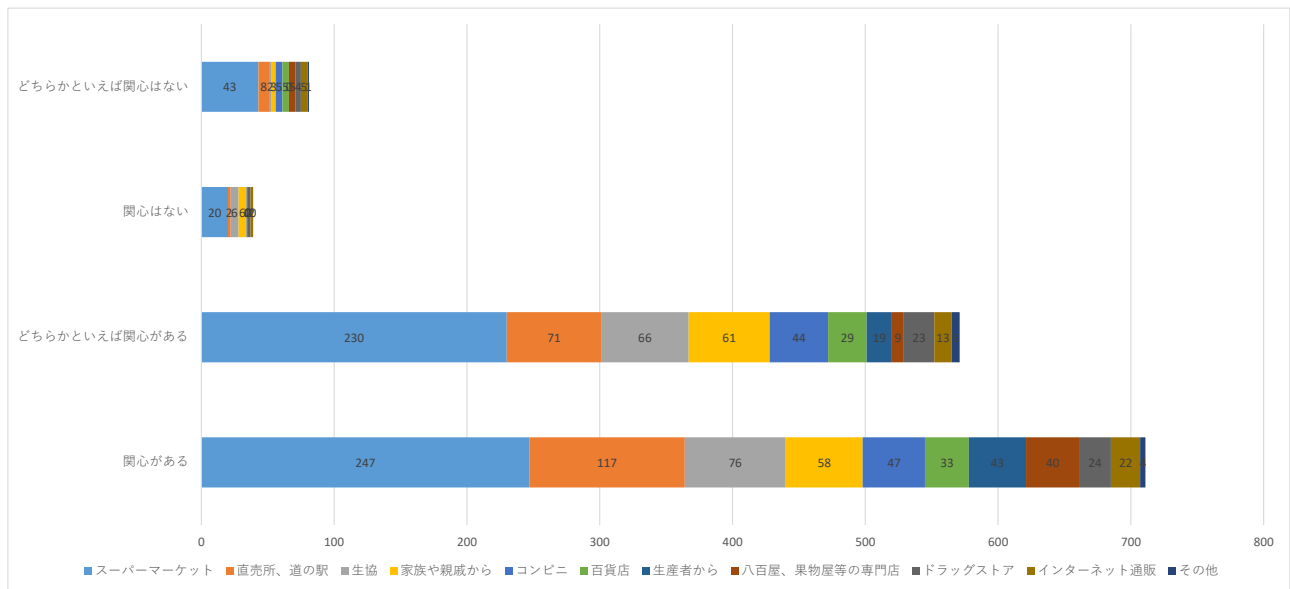


(2択にした場合の割合)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
関心がある+どちらかといえば関心がある	75%	79%	89%	92%	93%	98%	100%
関心がない+どちらかといえば関心がない	25%	21%	13%	9%	8%	13%	0%

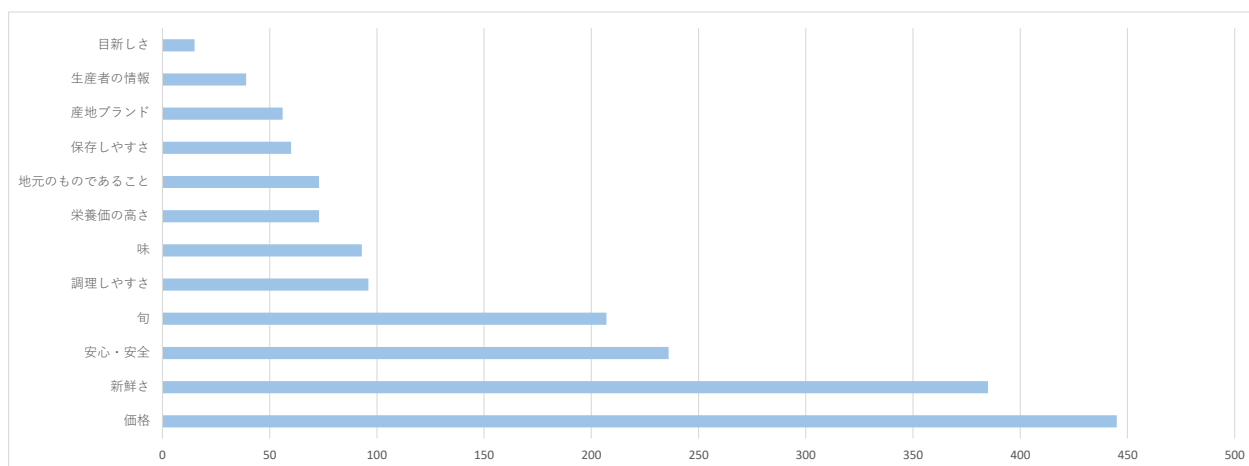
Q5「地産地消への関心」×Q6「食材の購入先」☐”地産地消への関心が高い方の食材の購入先”

	スーパーマーケット	直売所、道の駅	生協	家族や親戚から	コンビニ	百貨店	生産者から	八百屋、果物屋等の専門店	ドラッグストア	インターネット通販	その他	計
関心がある	247	117	76	58	47	33	43	40	24	22	4	711
どちらかといえば関心がある	230	71	66	61	44	29	19	9	23	13	6	571
関心はない	20	2	6	6	1	0	0	0	2	2	0	39
どちらかといえば関心はない	43	8	2	3	5	5	0	5	4	5	1	81
計	540	198	150	128	97	67	62	54	53	42	11	1402



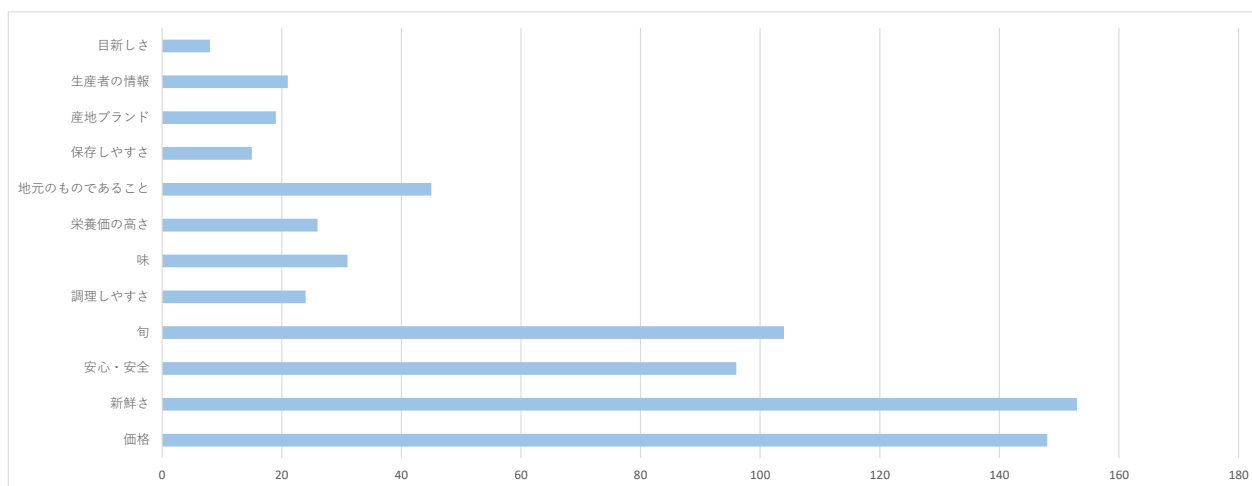
Q6「食材の購入先」のうち「スーパーマーケット」と回答した人×Q7「食材を選ぶときに重視すること」

	価格	新鮮さ	安心・安全	旬	調理しやすさ	味	栄養価の高さ	地元のものであること	保存しやすさ	産地ブランド	生産者の情報	目新しさ
回答数	445	385	236	207	96	93	73	73	60	56	39	15
割合	82%	71%	44%	38%	18%	17%	13%	13%	11%	10%	7%	3%



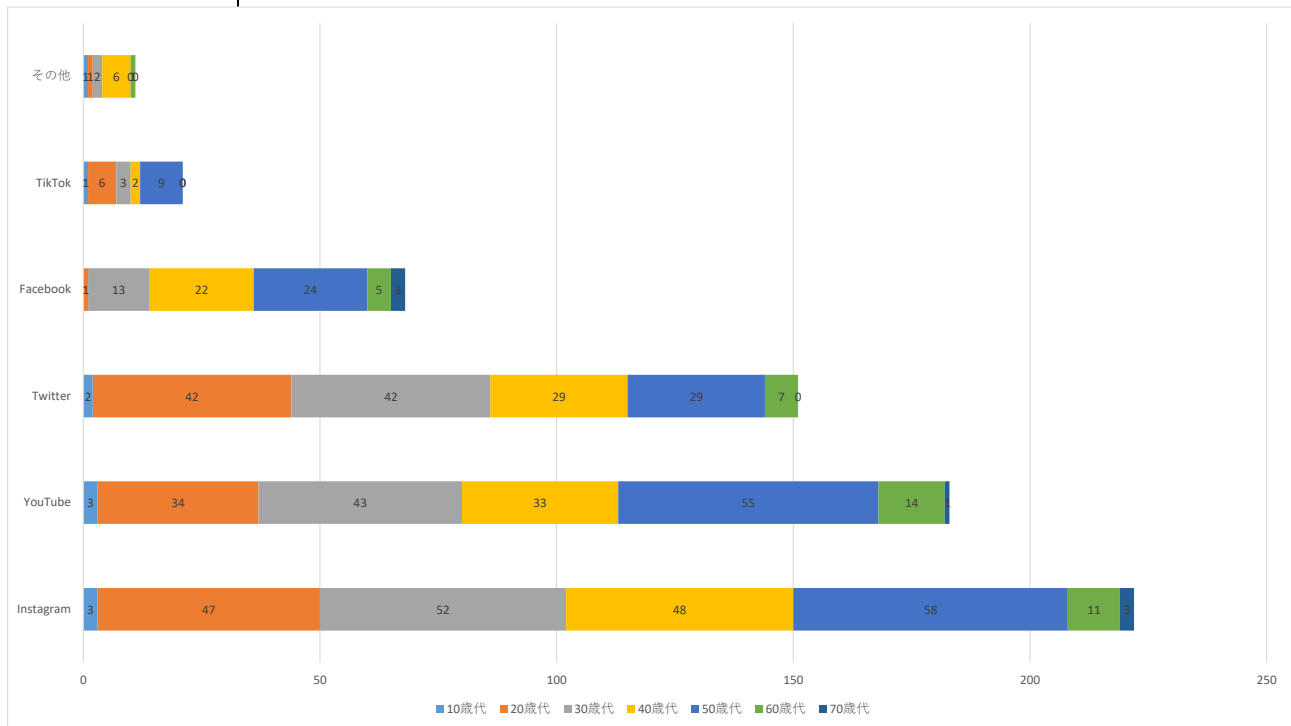
Q6「食材の購入先」のうち「直売所、道の駅」と回答した人×Q7「食材を選ぶときに重視すること」

	価格	新鮮さ	安心・安全	旬	調理しやすさ	味	栄養価の高さ	地元のものであること	保存しやすさ	産地ブランド	生産者の情報	目新しさ
回答数	148	153	96	104	24	31	26	45	15	19	21	8
割合	75%	77%	48%	53%	12%	16%	13%	23%	8%	10%	11%	4%



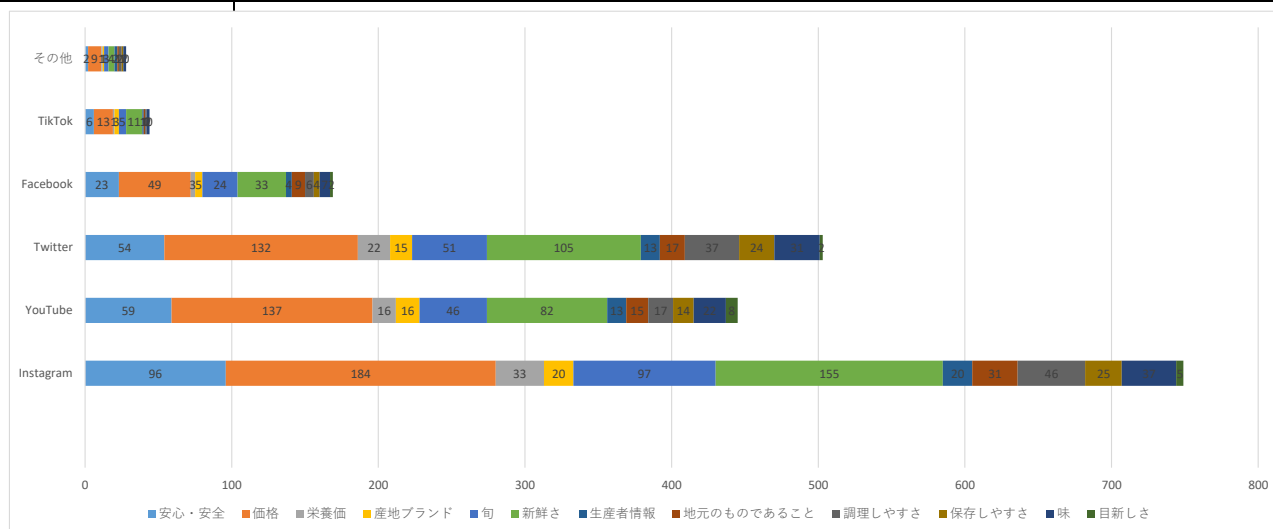
Q1「年代」×Q10「よく使うSNS」☑” 遡及対象年代別のSNS選択”

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
Instagram	3	47	52	48	58	11	3	222
YouTube	3	34	43	33	55	14	1	183
Twitter	2	42	42	29	29	7	0	151
Facebook		1	13	22	24	5	3	68
TikTok	1	6	3	2	9	0	0	21
その他	1	1	2	6	0	1	0	11
計	10	131	155	140	175	38	7	656



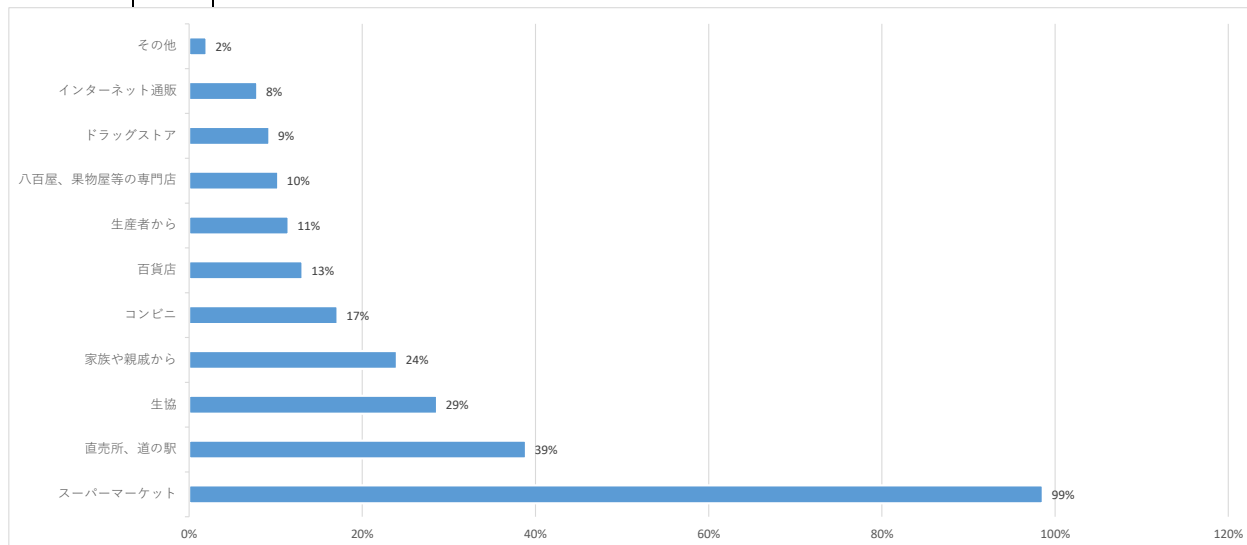
Q7「食材を選ぶときに重視すること」×Q10「よく使うSNS」□” SNSの種類別に発信すべき内容”

	安心・安全	価格	栄養価	産地ブランド	旬	新鮮さ	生産者情報	地元のものであること	調理しやすさ	保存しやすさ	味	目新しさ	計
Instagram	96	184	33	20	97	155	20	31	46	25	37	5	749
YouTube	59	137	16	16	46	82	13	15	17	14	22	8	445
Twitter	54	132	22	15	51	105	13	17	37	24	31	2	503
Facebook	23	49	3	5	24	33	4	9	6	4	7	2	169
TikTok	6	13	1	3	5	11	1	1	1	0	2	0	44
その他	2	9	1	1	3	4	2	1	2	1	2	0	28
計	240	524	76	60	226	390	53	74	109	68	101	17	1938



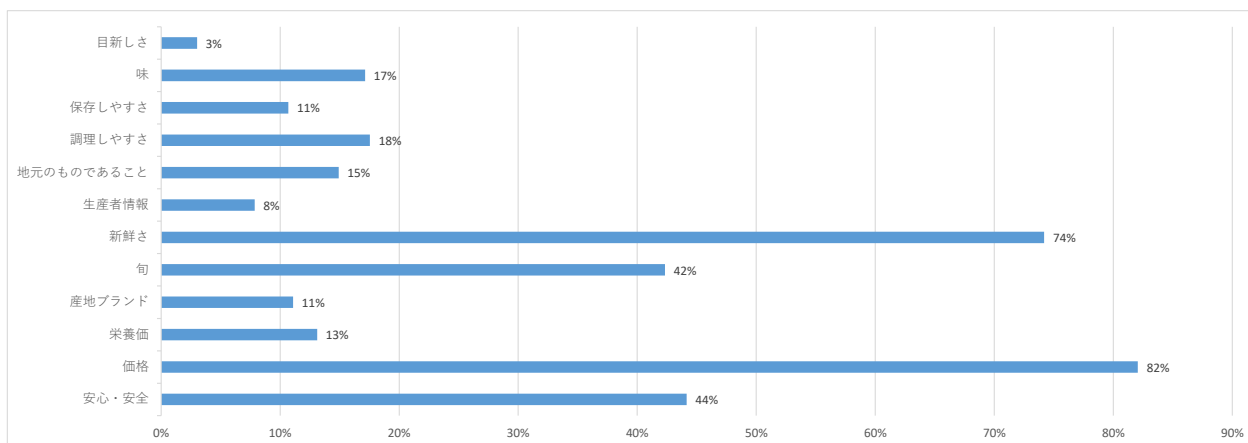
Q12「食べたことがある食材」で「古都華」を選択した方×Q6「食材の購入先」

	スーパーマーケット	直売所、道の駅	生協	家族や親戚から	コンビニ	百貨店	生産者から	八百屋、果物屋等の専門店	ドラッグストア	インターネット通販	その他
回答数	489	193	142	119	85	65	57	51	46	39	10
割合	99%	39%	29%	24%	17%	13%	11%	10%	9%	8%	2%



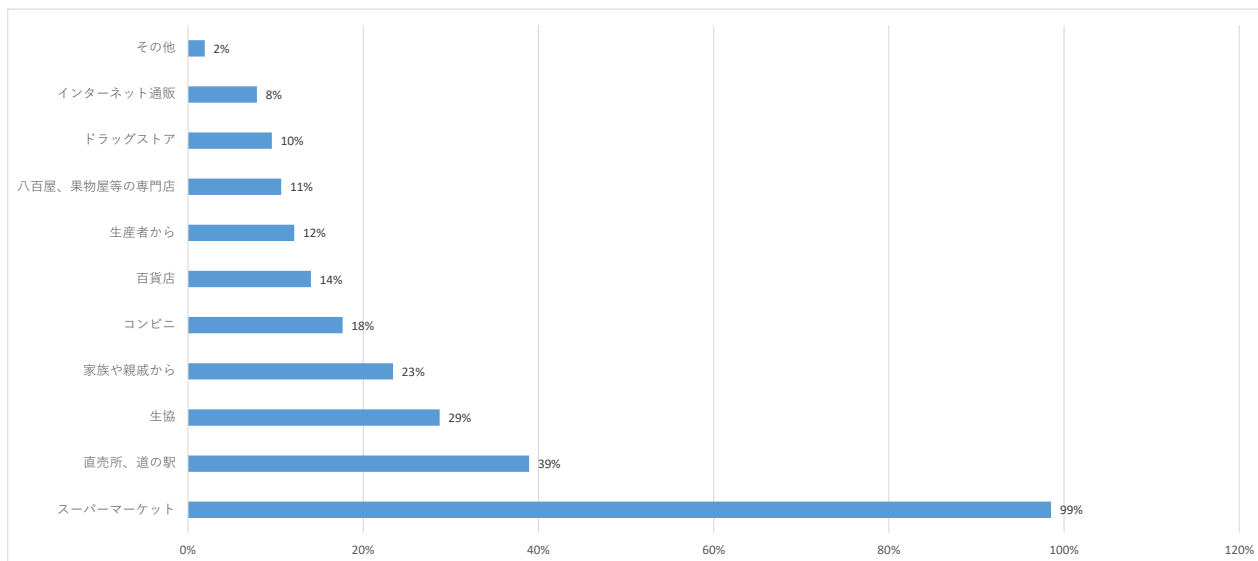
Q12「食べたことがある食材」で「古都華」を選択した方×Q7「食材を選ぶときに重視すること」

	安心・安全	価格	栄養価	産地ブランド	旬	新鮮さ	生産者情報	地元のものであること	調理しやすさ	保存しやすさ	味	目新しさ
回答数	219	407	65	55	210	368	39	74	87	53	85	15
割合	44%	82%	13%	11%	42%	74%	8%	15%	18%	11%	17%	3%



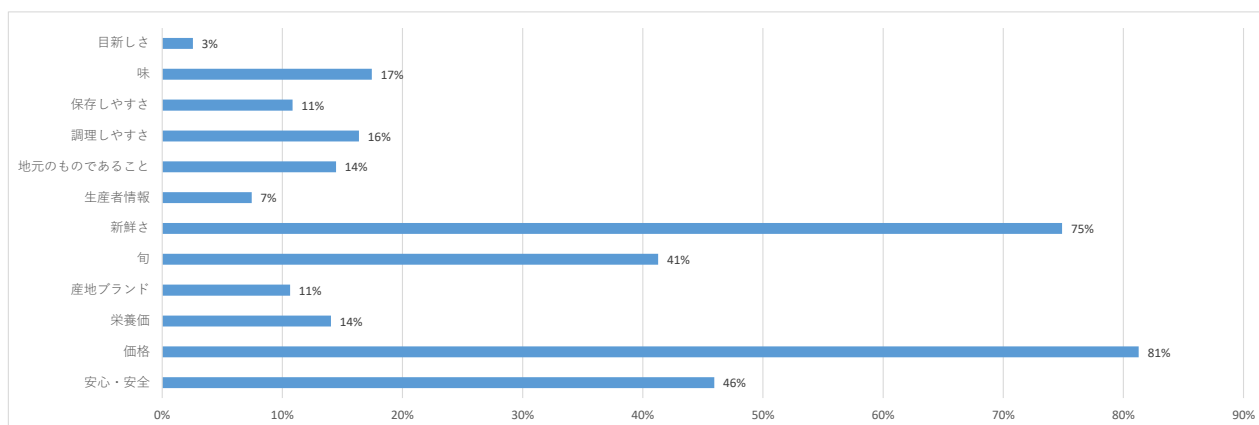
Q12「食べたことがある食材」で「大和茶」を選択した方×Q6「食材の購入先」

	スーパーマーケット	直売所、道の駅	生協	家族や親戚から	コンビニ	百貨店	生産者から	八百屋、果物屋等の専門店	ドラッグストア	インターネット通販	その他
回答数	463	183	135	110	83	66	57	50	45	37	9
割合	99%	39%	29%	23%	18%	14%	12%	11%	10%	8%	2%



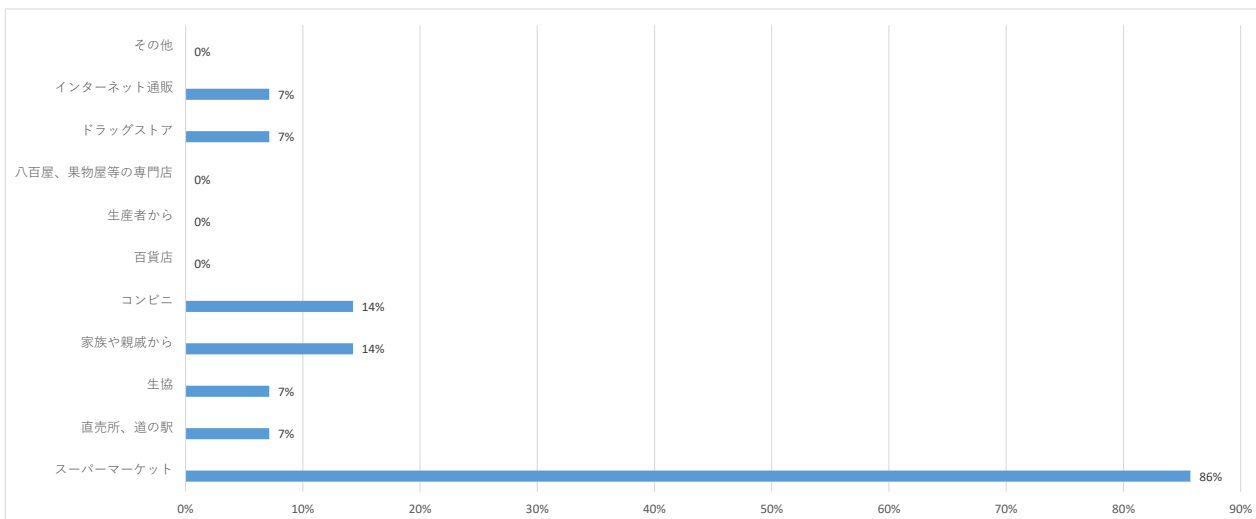
Q12「食べたことがある食材」で「大和茶」を選択した方×Q7「食材を選ぶときに重視すること」

	安心・安全	価格	栄養価	産地ブランド	旬	新鮮さ	生産者情報	地元のものであること	調理しやすさ	保存しやすさ	味	目新しさ
回答数	216	382	66	50	194	352	35	68	77	51	82	12
割合	46%	81%	14%	11%	41%	75%	7%	14%	16%	11%	17%	3%



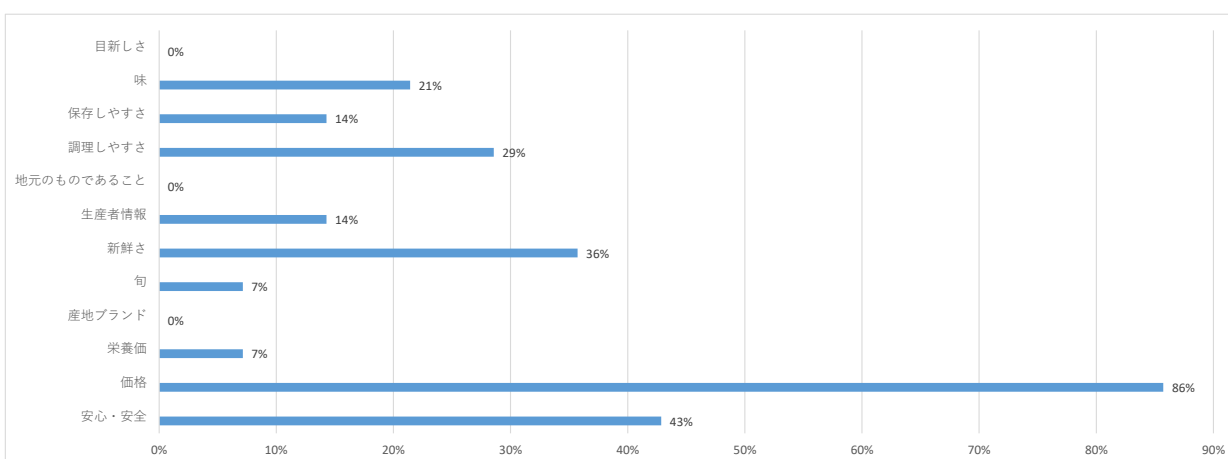
Q12「食べたことがある食材」で「食べたことがある食材はない」を選択した方×Q6「食材の購入先」

	スーパーマーケット	直売所、道の駅	生協	家族や親戚から	コンビニ	百貨店	生産者から	八百屋、果物屋等の専門店	ドラッグストア	インターネット通販	その他
回答数	12	1	1	2	2	0	0	0	1	1	0
割合	86%	7%	7%	14%	14%	0%	0%	0%	7%	7%	0%



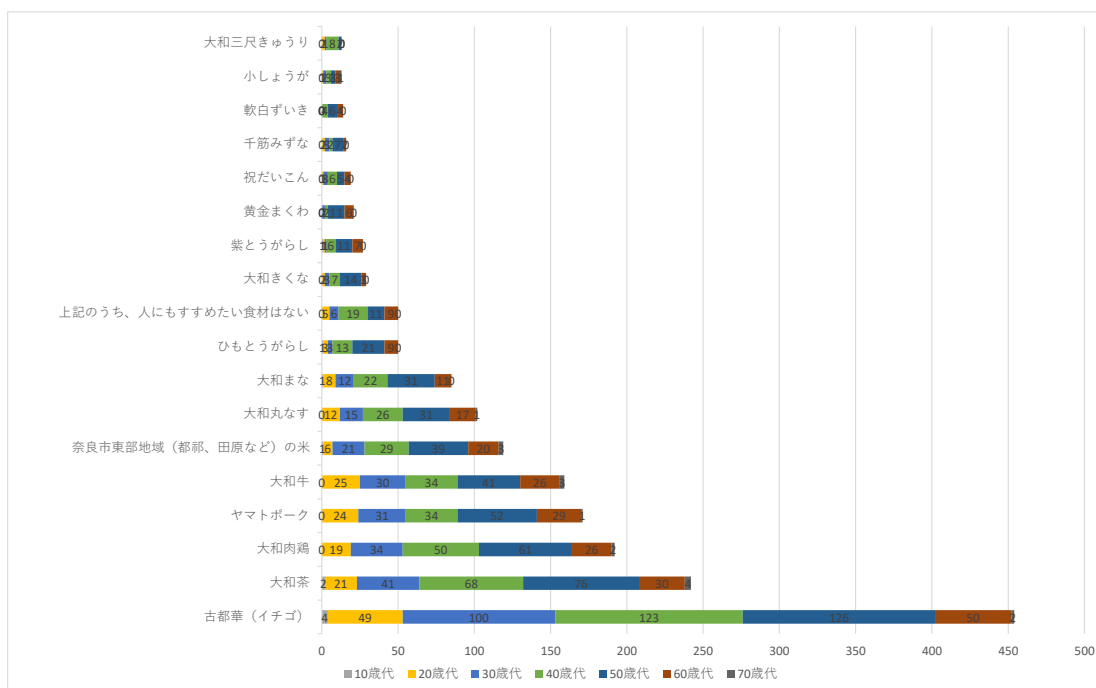
Q12「食べたことがある食材」で「食べたことがある食材はない」を選択した方×Q7「食材を選ぶときに重視すること」

	安心・安全	価格	栄養価	産地ブランド	旬	新鮮さ	生産者情報	地元のものであること	調理しやすさ	保存しやすさ	味	目新しさ
回答数	6	12	1	0	1	5	2	0	4	2	3	0
割合	43%	86%	7%	0%	7%	36%	14%	0%	29%	14%	21%	0%



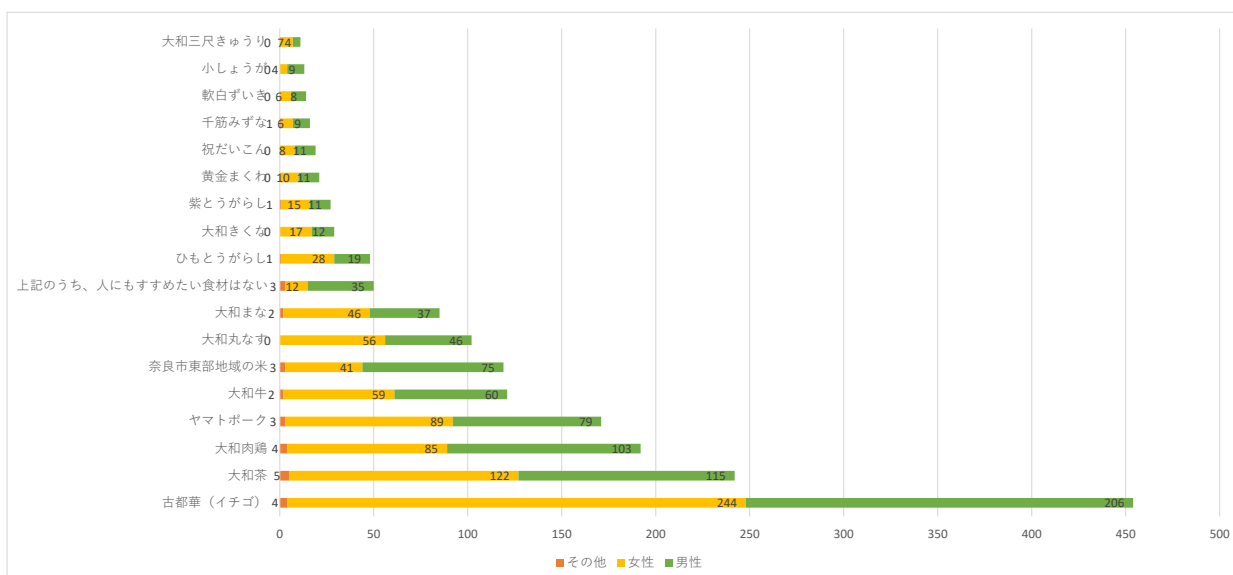
Q1「年代」×Q13「人にすすめたい食材」□”年代別人気食材の傾向”

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
古都華（イチゴ）	4	49	100	123	126	50	2	454
大和茶	2	21	41	68	76	30	4	242
大和肉鶏	0	19	34	50	61	26	2	192
ヤマトポーク	0	24	31	34	52	29	1	171
大和牛	0	25	30	34	41	26	3	159
奈良市東部地域（都祁、田原など）の米	1	6	21	29	39	20	3	119
大和丸なす	0	12	15	26	31	17	1	102
大和まな	1	8	12	22	31	11	0	85
ひもとうがらし	1	3	3	13	21	9	0	50
上記のうち、人にもすすめたい食材はない	0	5	6	19	11	9	0	50
大和きくな	0	2	3	7	14	3	0	29
紫とうがらし	1	1	1	6	11	7	0	27
黄金まくわ	0	0	2	2	11	6	0	21
祝だいこん	0	1	3	6	5	4	0	19
千筋みずな	0	2	3	2	7	2	0	16
軟白ずいき	0	0	0	4	6	4	0	14
小しょうが	0	1	2	3	3	3	1	13
大和三尺きゅうり	0	2	1	8	2	0	0	13
計	10	181	308	456	548	256	17	1776



Q2「性別」×Q13「人にすすめたい食材」☑”性別ごとの人気食材の傾向”

	その他	女性	男性	計
古都華（イチゴ）	4	244	206	454
大和茶	5	122	115	242
大和肉鶏	4	85	103	192
ヤマトボーク	3	89	79	171
大和牛	2	59	60	121
奈良市東部地域の米	3	41	75	119
大和丸なす	0	56	46	102
大和まな	2	46	37	85
上記のうち、人にもすすめたい食材はない	3	12	35	50
ひもとうがらし	1	28	19	48
大和きくな	0	17	12	29
紫とうがらし	1	15	11	27
黄金まくわ	0	10	11	21
祝だいこん	0	8	11	19
千筋みずな	1	6	9	16
軟白ずいき	0	6	8	14
小しょうが	0	4	9	13
大和三尺きゅうり	0	7	4	11
計	29	855	850	1734



Q11「知らない食材」×Q12「食べたことがある食材」☐ “認知度と食経験の相関”

食材名	知っている人の割合	食べたことがある人の割合	知っているが食べたことがない人の割合
古都華（イチゴ）	97%	91%	7%
大和茶	97%	86%	11%
大和肉鶏	88%	68%	20%
ヤマトボーク	90%	67%	23%
大和牛	90%	57%	32%
大和まな	75%	53%	23%
大和丸なす	75%	48%	27%
奈良市東部地域の米	78%	47%	30%
ひもとうがらし	51%	33%	19%
大和きくな	53%	26%	26%
祝だいこん	32%	19%	14%
紫とうがらし	32%	16%	16%
黄金まくわ	28%	14%	14%
千筋みすな	24%	12%	12%
軟白ずいき	27%	11%	15%
大和三尺きゅうり	27%	10%	17%
小しょうが	21%	7%	14%

Q12「食べたことがある食材」×Q13「人にもすすめたい食材」☐ “食経験への満足度”

食材名	食べたことがある割合	人にすすめたい割合	食べたことがあるが人にすすめたいと思わない割合
古都華（イチゴ）	91%	82%	8%
大和茶	86%	43%	43%
大和肉鶏	68%	34%	34%
ヤマトボーク	67%	30%	37%
大和牛	57%	28%	29%
奈良市東部地域の米	47%	21%	26%
大和丸なす	48%	18%	30%
大和まな	53%	15%	37%
ひもとうがらし	33%	9%	24%
大和きくな	26%	5%	21%
紫とうがらし	16%	5%	11%
黄金まくわ	14%	4%	10%
祝だいこん	19%	3%	15%
千筋みずな	12%	3%	9%
大和三尺きゅうり	10%	2%	8%
軟白ずいき	11%	3%	9%
小しょうが	7%	2%	5%